

平泉文化セミナー第 65 回例会の開催について

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的を開催しております。

今回の平泉文化セミナー第 65 回例会は、岩手大学平泉文化研究センターサテライト県立平泉世界遺産ガイダンスセンターにおいて、下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

『義経記』や能に描かれた義経と二人の妻 (その 2)

岩手大学平泉文化研究センター客員准教授

田中成行 氏

要 旨： 源義経についての多くは、彼の死後に創作された『義経記』などの文学作品や芸能によって語られている。その波乱の生涯において、二人の妻「白拍子の静御前」と「久我大臣の姫の北の方」が重要な役割を果たしている。

今回は、久我大臣殿の姫君として京都に生まれ、乳人兼房に赤子の頃から大切に育てられ義経の妻となり、母となって義経とどう支えあったのかを『義経記』から読み取り、『おくのほそ道』「平泉」章段で随行した曾良の句「卯の花に兼房見ゆる白毛かな」の兼房にも言及する。

令和 4 年 7 月 24 日 (日) 13 : 30 ~ 15 : 00

開催場所 岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター 体験学習室・講座室

(住所 岩手県西磐井郡平泉町平泉字伽羅楽 108-1)

聴講受付 当日受付、先着 25 名 (新型コロナの感染状況により変更する場合があります。)

【本件に関する問い合わせ先】 岩手大学平泉文化研究センター事務局

〒020-8550

盛岡市上田三丁目 18-33

019-621-6529 E-mail yoshisat@iwate-u.ac.jp